

■趣 旨

◎長岡市の中心市街地を再生させるため、市役所機能を含む「アオーレ長岡」の整備や複数の再開発事業による公共的な施設の導入がなされており、昨年、再開発ビル「米百俵プレイス」の一部が完成しましたが、その中核となる公共施設「ミライエ長岡」は、図書館機能を中心に多様な機能が融合したユニークな施設です。

◎また、長岡駅から一駅南の宮内にある「摂田屋」という地区は、酒蔵「吉乃川」をはじめとして、酒、味噌、醤油などの醸造元が集積し、土蔵をリノベーションした発酵ミュージアム「米蔵」ができるなど、魅力的なまちづくりが進められています。

◎今回は、長岡のまちづくりに関わっている水流潤太郎氏及び早川秀樹氏に案内していただき、長岡のまちづくりを味わいました

■日 程 2024年7月13日(土) 10:00~17:30

■まち歩きルート

宮内駅 ⇒ 摂田屋地区 ⇒ 宮内駅

《JR信越本線で移動》

長岡駅 ⇒ 長岡中心市街地

■オプション企画 《7月14日(日)》

しおざわ牧之通りの街並み（南魚沼市）

■参加者

井手幸人、大竹 亮※、高橋 謙、藤井 正男※、古里 実、横田 宜明※

【現地案内】水流潤 太郎氏、早川 秀樹氏

【コーディネーター】栗原 徹※ 合計9名

※はオプション企画参加者



1 宮内・摂田屋

- ・摂田屋は、越のむらさき（醤油）、星野本店（味噌、醤油）、星六（味噌）長谷川酒造（日本酒）、吉乃川（日本酒）などが集積する醸造の街で、それらの多くが歴史的建造物であることから独特の街並みが形成されている。
- ・旧機那サフラン酒製造本舗は主屋や鏝絵蔵など10棟の歴史的建築物からなり、大部分は未活用だが2020年にそのうちの1棟が再生され、「摂田屋6番街 発酵ミュージアム・米蔵」として新たな交流拠点となっている。

(1) 摂田屋の街全体

評価 4.71 【AAAAAB】

- A：酒造などの醸造元が集積し、多くが今も操業しつつ、伝統的な建築景観が保たれている。公開施設は一部だが、菓子舗や雑貨店の新規開業など新しい動きがあり、今後の発展が楽しみである。宮内駅からのレトロな商店街から、美術館カフェなどが刺激になってつながると面白く、首都圏などからの鉄道旅行者の誘客には効果的か。
- A：酒蔵、醤油蔵、味噌蔵など、醸造関係が集積し、独特の街並みを形成している。まだそれほど観光化されておらず、本来の街の姿がきちんとあるのがいい。
- A：摂田屋地区に歴史的建造物がこれほど沢山残っていることに驚いた。しかも、酒蔵や味噌製造など生業として現役で使われている点が良い。
- A：摂田屋エリアの資源が上手に使われ始めている。日曜日で空いていない建物もあったが、まずは地元の日常生活が豊かになることが重要だと思うので、予算の都合や地元の認識の高まりに併せて活用を進めていけば良いと思った。
- A：駅前には寂しい感じがしましたが、醸造蔵が点在する地区に入っていくと歴史を刻んだ建物の迫力に圧倒されました。
- A：素晴らしいと思いました。見どころ満載ですね。
- B：酒、みそ、醤油等発酵食品を培ってきた地域の文化と富を象徴する歴史的建造物を活かしたまちづくりが進んでいる。2012年に結成された「機那サフラン酒造本舗保存を願う市民の会」の地道な活動が市を動かし、水流さん有識者の参加により磨きがかけている。これからが楽しみなまちである。今後の期待を含めBとした。



(2) 摂田屋6番街発酵ミュージアム・米蔵

評価 4.43 【AAAAAB】

- A：米蔵をリノベーションして街の拠点をつくっている。蔵とは思えない開放的な空間やそこで売られている地場商品のセンスも良く、地元の食材を使った6SUBIのプレートランチもとても美味しかった。
- A：旧サフラン酒本舗の豪壮な屋敷全体の立派さに敬服した。特に巨大な主屋、豪壮な離れ座敷、見事な鏝絵の蔵には本当に驚いた。先導的にリノベーションされた米蔵は、洒落たセンスの心地好いカフェ兼食事処になっており、今後の展開に期待したいところ。

A：確かに内部に入ると改造が多いと感じるが、軸を振ったサービスエリア等、斬新さがあって心地の良い空間になっている。料理も発酵素材をリスペクトしながら、幅広いメニューを扱っており、古いものを活かしつつ、新しい要素が加わっていて、良い活用方法だと感じた。

A：一休みし地図を広げ、次どこに行こうか？など食事を取りながら相談できる摂田屋のまち歩きには欠かせない貴重な施設。

A：とても良い施設だと思います。もっと改修できるといいですね。

B：古い蔵をリノベーションして活用されている。駐車場、トイレ等が整備され、旧機那サフラン酒造の本格的リノベーションのモデルとなっている。「6SUBI」が入り摂田屋の発酵文化を味わうことができるのがよい。店内のデザインレイアウトも優れている。また、歴史遺産のピアノの演奏やライブの開催も楽しい。

B：元米蔵に前面ガラス張りの下屋が付き、内部も吹き抜けにトラス材の小屋組を見せる軽快なデザインへ一新されていて気持ちが良いが、歴史を感じる部分が少なくなっている点が少し残念。



摂田屋6番街 米蔵



(3) その他印象に残った施設など

◎旧機那サフラン酒製造本舗：とにかくインパクトがある建物群と庭園であり、ぜひうまく活用してほしい

◎旧機那サフラン酒製造本舗：千と千尋の神隠しの湯屋を思い起こさせる。歴史的意匠をそこかしこに使い、圧倒的な存在感のある建造物群である。老朽化がここまで進むと、発想を変えた対応が必要に思う。

◎機那サフラン酒主屋：建物がせまって来るような迫力に圧倒されました。

◎サフラン酒造主屋・調整蔵：平沢さんの解説で、状況がよくわかりました。ストックの質が高いので、これからどう改修して活用していくのか、期待が高まりました。

◎鰻絵蔵：こんなに鮮やかな色彩の蔵を見たのは初めてであった。ナマコ壁の白黒との対比、組み合わせも面白く、見せることを意識したことがよく分かった。箱棟のデザインもこだわりが感じられた。

◎鰻絵の蔵：摂田屋バロック発見。色彩鮮やかな鰻絵が素晴らしい。

◎秋山孝ポスター美術館：独特のファサードが目を引く建築で、中に展示されているポスターも美しい

◎秋山孝ポスター美術館長岡：「宮内・摂田屋百景」などこの地区の魅力が詰まった冊子が購入できる

◎秋山孝ポスター美術館長岡：大正期の銀行建築をリノベーションして秋山孝の作品を展示するスペースとしている。地域のコンサート会場等にも活用されている。

◎秋山孝ポスター美術館：宮内商店街の一角に残る風格ある旧銀行建築を活用したお洒落なスペース。

◎吉乃川酒ミュージアム「醸蔵」：ここで飲んだスパークリング日本酒がとても美味しかった

◎吉乃川酒ミュージアム醸造：有形登録文化財の建物が集客施設として機能している点が良い。

◎吉野川酒ミュージアム：普通の酒蔵見学より工夫されていると思いました。

◎吉乃川酒ミュージアム醸蔵：登録文化財の大蔵を活かして吉乃川酒造の歴史や酒造りの展示、吉乃川を楽しめる SAKE バーがあって楽しめる。

鰻絵蔵



秋山孝ポスター美術館



吉乃川ミュージアム 醸蔵



- ◎江口だんご：だんご屋としてもなかなか良いが、入口近くの蔵を活用したL I Sも魅力的
- ◎江口だんご摂田屋店：旧家の屋敷と庭園を活かした甘味処。建物の外観内観とも優れている。種類のあるだんごがおいしい。
- ◎L I S摂田屋：蔵を改装転用した新傾向ショップで品揃えがユニーク。隣の団子屋と並んで楽しい。
- ◎L I S摂田屋：蔵をリノベーションした雑貨店。店内のディスプレイのデザインが優れている。地域力を活かし「地域を食べる」をコンセプトとしたFAEM8が運営している。
- ◎越のむらさき：木造瓦屋根 切妻屋根妻入りのこの地域の象徴的な店舗と白壁の蔵、道しるべ地蔵、竹駒稻荷社が調和して歴史性を感じる。
- ◎越のむらさきと竹駒稻荷と旧三国街道の景観：湾曲した道沿いに歴史を感じる板壁の建物が印象的。
- ◎越のむらさきと辻地蔵：三国街道のまちかど景観に風情がある。当日は開店していて有難かった。
- ◎切妻屋根+雁木が並ぶ街並み：宮内地区・摂田屋地区の歴史を感じることができる
- ◎十兵衛小路の家並み：落ち着いた風情が修景で保たれて、星野本店や長谷川酒造に続いている。



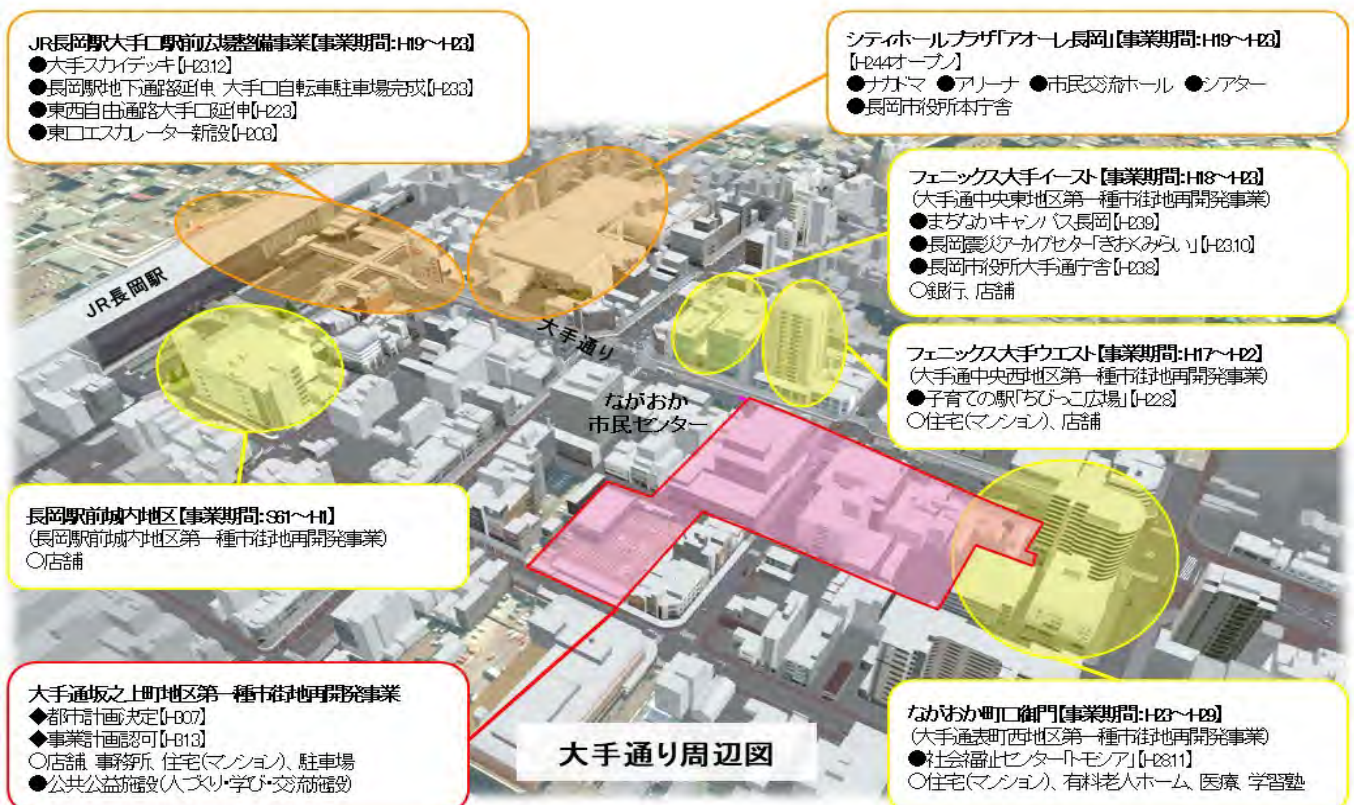
L I S



越のむらさきと三国街道

2 長岡中心市街地

- ・長岡市は衰退した中心市街地を再生するため、市庁舎とアリーナなどによる複合施設「アオーレ長岡」を整備するとともに複数の再開発事業を推進し、その中にも様々な公共的な施設を導入することで、街の活性化を図って来ている。
- ・昨年一部完成した大手通坂之上町地区「米百俵プレイス」に、互尊文庫（図書館機能）を核とし多様な機能が複合した施設「ミライエ長岡」がオープンするなど、公共施設を中心としたまちづくりは更に充実してきている。



(1) 長岡中心市街地の街全体

評価 4. 1 4 【AAA BBB】

- A：長岡市が進める「まちなか型公共サービス」を体験することができました。生活者にとっては利用しやすく、質の高い公共の施設整備が進む地方都市の中心市街地のモデル事例。
- A：市役所の中心部への移転。市街地中心部に人を集め、情報を発信、起業応援、子どもの育成を見事に実行している。
- A：公共施設がコンパクトに駅前市街地にまとまって整備され、高校生など若い人たちの居場にもつながっている点が良い。
- A：全体的に公共施設が良く整備されてますね。
- B：業務集積はそこそこあるが、商業機能はやはり活気に乏しい。しかし、アオーレやミライエなど、市民開放施設を積極的に整備したことで、賑わいをもたらされているように見える。昼間は無料スペースで勉強する姿が、夜は仲間とそぞろ歩く姿が、街なかに多く見られ、若い人々が中心街に戻ってきているのが頼もしい。
- B：アオーレ含め、再開発した施設のコンセプトや内容は良いが、それ以外の建物の使い方や再編が進んでいない。しかし、街なかに若い人が増えており、再開発の効果が現れてきていると感じた。
- B：公共施設を集約することで街を再生させようという試みは成功していると思うが、商業施設がもう少しないと街としての楽しさが見えてこない。



米百俵プレイス



ミライエ長岡

(2) アオーレ長岡

評価 5. 2 9 【A A A A A A A】

- 特A：市役所を中心街に戻し、アリーナや交流広場とともに整備して、市民が集う場を創出している。表通りに面する広場、巨大な吹き抜け、2階の回廊テラスなど、自由に出入り可能な公開スペースが多く、空間構成やデザインも秀逸で、テーブルやベンチも多数置かれ、大勢の若者で昼夜とても賑わっている。地方都市中心街の理想的施設である。
- A：ナカドマの空間が素晴らしい。通りとの関係、程よいスケール感と変化のあるデザイン、市庁舎やアリーナとの一体性など様々な要素が融合して、昼夜を問わず人が集う非常に居心地の良い空間となっている。
- A：屋根付き広場「ナカドマ」を中心に、市役所、アリーナ、市民交流ホール、シアター、議会棟、コンビニが接続し、隈研吾設計らしい木質の柔らかさが感じる施設である。広場は広く市民に開放され、大型スクリーンから情報が発信されている。若者が多く利用していると感じた。
- A：市役所でありながら、アリーナ、ホール、交流スペース、コンビニ等をナカドマやオープンテラスでつなぎ合わせ、交流と賑わいを創出しており、コンセプトと設計が見事に融合して市民にとって愛着のある、居心地の良い場所になっている。
- A：開放感のある大屋根空間下で、人の動きを感じながら様々な公共施設等を活用できる素敵な施設。
- A：大屋根のある広場が街に開いていて、かつ、複合施設とのつながりも良く、うまい設計だと思う。
- A：良くできていると思いました。

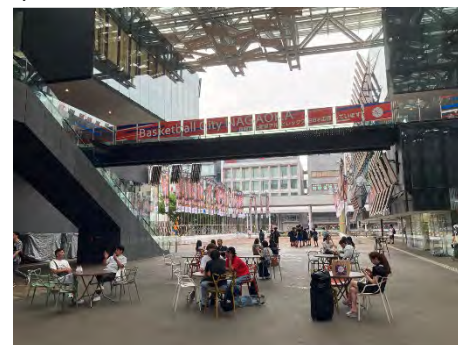
ナカドマ



アリーナ



ナカドマ



(3) 米百俵プレイス&ミライエ長岡

評価 5.00 【AAAAAAA】

A：米百俵プレイスは3棟の建築物からなる市街地再開発事業で、西館は新築、東館は旧銀行建物の改修、北館は駐車場棟からなる。を西館の一部がミライエ長岡である。ミライエ長岡は、図書館、産業交流施設、賑わいづくりの3つの機能をもつ。図書館は開放性があり、学生のグループ学習が可能で、多くの学生が利用していた。階段状のオープンな講演会場（ミライエステップ）、ものづくりラボが隣り合っている。大学のゼミもここで行われていた。

A：四つの街区を分有として再開発する工夫が、その後の維持管理更新をスムーズに進める上で大事なポイントだと思う。市図書館の互尊文庫は図書の配置が分かり易く、利用者の居場所がたくさんあって素晴らしい。旧銀行建物を市役所床などに権利変換している点にも驚いた。再開発を成立させるために、多くの公共施設が再開発建物面積のかなりの部分を占めることになっていることは、地方都市の再開発の共通の課題だなとも感じた。

A：1階部分に通り抜け通路兼ロビーが設けられ（ストリートピアノも！）、中間階に入るユニークな図書館（互尊文庫）などが若い人々でとても賑わっていた。商業機能の集積よりも、市民（特に若者）が集まる施設を中心にしたことが成功しているようだ。第二期の完成と街への展開が待たれる。

A：銀行が1、2階を占めているのはちょっと残念だったが、3～5階のミライエは、様々なスペースが空間的に混ざり合った構成となっており、イノベーションや交流を生み出す仕掛けとなっている。互尊文庫も会話、飲食OKの斬新な図書館だし、イノベーションサロンと連続的で、階段ライブラリーは使いやすさ来街者に任せており、施設全体が創造性を育むコンセプトと空間構成で徹底されている。

A：ミライエ長岡の互尊文庫は図書館でありながら話や食事でもできるようになっており、とても居心地が良さそう。1階が銀行で休日だったこともあり、ミライエ長岡のにぎわいが街ににじみ出てこないのが少し残念。

A：公共施設、銀行などの施設の輻輳化が素晴らしい。特に互尊文庫、スタジオなどなど長岡の新しいイノベーション発信基地になるのは間違いない。

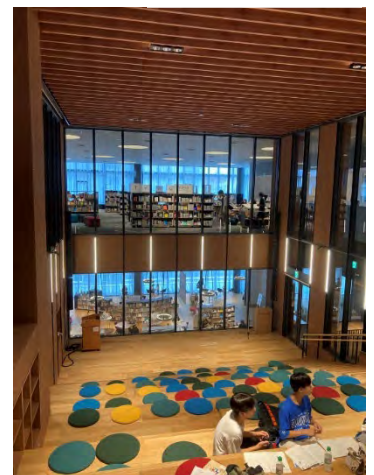
A：図書館特に良いですね。



ミライエ長岡



ミライエステップ



(4) その他印象に残った施設など

◎フェニックス大手イースト：階段状の勉強スペースがなかなか面白いが、1階店舗が空いているのは残念

◎フェニックス大手：表通りに面するロビーは自由に出入りでき、吹き抜けの大階段には勉強やテレワークが出来る無料スペースが並んでいた。

◎学びと交流の拠点「まちなかキャンパス長岡」：1階と2階を結ぶ階段中央に学習スペースを設置。学生や社会人が自由に学習できるスペースを確保している。

◎互尊文庫：非常にユニークな図書館。蔵書も空間も魅力的で、大勢の十代若者が集まっていた。みんな表情が生き生きとしていた。

◎互尊文庫：とても居心地の良さそうな場でした。飲食、会話、撮影OK 素晴らしい！

◎ミライエステップ：階段状のスペースを子どもたちが楽しそうに並んで机のように活用していた。いろいろな使い方ができそうな創造力を掻き立てる魅力的な空間。

◎デッキとアーケード：雪国なので街中のアーケードが充実し、駅からデッキでつながっているの、雨の日でも濡れずに街に出られる

◎防火建築帯のビル：防火建築帯のビル群によって独特の都市的景観が形成されている

3 地方都市のまちづくりには何が大切だと思いますか（自由意見）

- ◎地方都市の多くは人口減少から逃れられないので、一つの都市で完結するのではなく周辺や大都市と連携したまちづくりが重要になってくるのではないかと。そのためには、その街に継続的に関わってくれる街のファンをつくり、ファンの人たちの力をまちづくりに活用できるような仕組みができると面白いと思う。
- ◎全国の地方都市で郊外化が進んで、中心街の衰退と市街地の拡散が生じているが、都市の本質は多くの異質な人々が集まって交流接触し、それが刺激となって新しい動きを誘発するという「価値のるつぼ」であろう。それがあってこそ、中心街は「街の顔」としての求心力とアイデンティティを保つことが出来る。残された歴史的資源の活用は当然だが、以前のような商業機能の復活は難しいと認識し、それに代わる老若男女多彩な人々が集まる機能を集積させ、多様な価値の混交を促し、相乗効果や新規活動創出の仕掛けを設けることが現実的。
- ◎長岡の例からもわかるように、公共施設再編の総合管理計画と民間の力を引き出す中心市街地の再整備がうまくリンクすること、市の財政負担が大きくなり過ぎないことがポイントだと思う。また、再開発の保留床に分譲住宅をつくることは、郊外の住宅がそれだけ余ることに繋がるので、人口の再配置計画との整合性も問われることになる。
- ◎多くはないとしても、良質なストックや物語を大事にしながら、新しいストーリーをいかに作っていけるかが大事だと思います。そのとき大事になるのが、きっかけとなる小さな拠点とその拠点のコンセプトや空間デザインだと思います。
- ◎人づくりではないかと思っています。今回見せて頂いた、ミライエ長岡、摂田屋地区のまちづくりは、そのための魅力的な仕掛け、場作りが散りばめています。数年後また訪れたい。
- ◎郊外型商業施設の進出で中心市街地が廃れている。ミライエ長岡のような図書館と地元企業、若者の起業の場を作ることが大切だと思った。
- ◎街、地域の歴史を活かしてまちづくりを進めることだと思います。

4 宮内・摂田屋の旧機那サフラン酒製造本舗や竹樋茶舗などの建物をどう活用するのが良いと思いますか（自由意見）

- ◎摂田屋地区は古くからの醸造産業が集積し、それが歴史的景観を伝えているので、空き家は貴重な地域資源として有効活用したい。特に旧サフラン酒本舗は規模も内容も豪壮で、立派すぎて手に余るほどだが、文化財として現状を残しつつ内覧可能とする部分（鏝絵の蔵、離れ座敷など）と、思い切って手を入れて観光交流・市民活動の場とする部分に整理して活用してはどうか。宮内商店街は空き店舗が多いが、雁木に沿って町家が並ぶなど風情があり、ポスター美術館と連携して宮内駅から摂田屋地区への鉄道旅行者の誘致に仕掛けが欲しいところ。竹樋茶舗はもともと店舗併用住宅なので、住んで働く若いアーティストやクラフト職人に貸し出すのも一案か。
- ◎旧機那サフラン酒製造本舗については、主屋はかなり大変そうなので、まずは離れ座敷をレストランなどで活用し、それが軌道に乗った後で主屋の活用（できれば宿泊機能が欲しい）を考えてはどうか。竹樋茶舗については、駅から摂田屋への途中にあるので、1階はカフェ的にしてまちづくりの活動拠点にするのが良いと思う。
- ◎機那サフラン酒製造本舗：宮内・摂田屋木造遺産を選定し、その資料、写真などのアーカイブ施設。また、修復段階の部分的公開、訪問者に修復に参加（瓦やレンガなど購入してもらい部分修復に三参加など）してもらうなど支援者のネットワークを広げていってはどうでしょうか。



旧機那サフラン酒本舗



離れ座敷

◎味噌づくりや漬物、料理づくりを通じて発酵文化を体験する場が欲しいと思った。例えば味噌づくりならば、大豆を煮て麴を加えて発酵さなければならぬ。梅干しならば6月に梅漬けをして、真夏に3日間天日で干さなければならぬ。そんな時間をかけたスローライフ・スローフードの体験ができると参加者はリピーターとなり、快適な宿泊施設があればまちに泊まることになる。

◎旧機那サフラン酒製造本舗の老朽化がかなり進んだ部分は、歴史的に価値のある意匠の部分に限定した保存と活用とするなど、発想の転換が必要だと思う。竹樋茶舗は、町屋建築の特徴である通り土間を活かした再整備をして欲しいと思う。

◎コンセプトをまちづくりのストーリーの延長と考えること、リノベーションとリーシングをセットで考え、需要が見えにくい中、暫定的な利用も視野にいれて、無理をしないことだと思います。

◎より当時のものに近くなるよう、復元を進めていくべきだと思います。集客は望めると思います。

竹樋茶舗



5 しおざわ牧之通り《オプション企画》

- ・三国街道の宿場町として栄えた塩沢の牧之通りにおいて、道路改良事業に伴い地域住民が一体となってまちづくりに取り組み、宿場町のイメージと雪国特有の雁木の街並みを形成している。



しおざわ牧之通り

- A：雪深い山間の盆地を通る旧三国街道で、街路拡幅と合わせて沿道の建替え、伝統風の街並み整備が進められている。統一された景観は誠に美しく、設けられた雁木も風情があり、商店街の多くの店舗が営業を続けていることも驚異的だ。老舗の酒造や蔵のカフェは観光客にも魅力的だが、地元向けの多くの店舗が存続することを祈りたい。
- A：道路拡幅に合わせて沿道の大半の建物を伝統風建築として整備したことはスゴイ。映画のセットのような街かと思っていたが、意外に本物感がありちゃんとした街並みになっている。

評価 4.50 【AAB】

牧之通り



- A：道路拡幅に併せて、ここまでできれば立派だと思いました。鈴木牧之のDNAが、このまちづくりのベースにあるとすれば、米百俵と同様、きっかけや物語は大事だと思いました。
- B：三国街道の塩沢宿を道路改良事業で雪国らしい雁木のある歴史的な町並みに整備された。パンフレットには平成22年（2010年）に完成とあるので、14年経過している。景観上優れた建物にはまちなみ景観協定合格証が表示されていたので、地域住民が継続的に景観形成を進めていることがわかる。塩沢は南魚沼市にあたり、市の景観計画が今、策定中で令和6年7月1日景観計画策定委員会議事録では、「牧之通り地区」は景観形成重点地区、駅前から牧野通を結ぶ「つむぎ通り地区」景観形成推進地区としていく記載があった。



牧之通り

6 その他、印象に残ったところ、企画全般に対する感想など

- ◎話聞く長岡の先導的まちづくり（中心街も宮内も）に興味を持ちつつ、今まで訪問の機会がなかったのですが、栗原さんの企画によってそれが実現できました。特に、宮内の歴史的まちづくりと中心街の再開発を両方見たことで、地方都市の課題とその解決を目の当たりにできました。ご案内下さった水流さん、早川さん、ありがとうございました。米百俵の精神が今に引き継がれ、まちづくりの底流となっているのが素晴らしいです。中心街に集う若者に未来あれ！（OR）
- ◎実際にまちづくりを実践している水流さんや、平沢さん、早川さんの解説があって、深くまで理解できたテクテクでした。塩沢宿も含め、今回訪ねた地区には、際立つ物語があって、ある意味恵まれていると思いましたが、それがDNAとなって、今のまちづくりに活かされていると思うと、こうした積み重ねが地方都市のまちづくりを楽しく、豊かにしてくのではないかと思います。栗原さん、ありがとうございました。（F Ma）
- ◎長岡の街は、地方都市の中心市街地再生のお手本のような事例で、見どころと学びどころがとても多い企画でした。また、地方都市再生にURが果たしている役割も再認識しました。摂田屋地区も磨くと光る原石がたくさんあるので、再訪するのが楽しみな街だと感じました。企画・ご案内いただいた栗原さん、水流さん、早川さん、ありがとうございました。（HM）
- ◎宮内・摂田屋地区の醸造関係の施設はどれをとっても魅力的でした。特に豪商「吉澤仁太郎」が残した機那サフラン酒本舗の建物群の迫力と保存、修復活動には感銘しました。また長岡の「米百俵プレイス」、「アオーレ長岡」で、多くの若人が楽しそうに施設を活用しているのを見て長岡の未来は明るいなと思いました。（I Y）
- ◎宮内・摂田屋、興味深く拝見しました。今回の案内がなければ訪れることはなかったと思います。また、長岡の公共施設の整備状況にも驚きました。色々勉強になりました。最後の懇親会も、とても良い店にご案内いただきありがとうございます。（TK）
- ◎現地で、ご案内いただきました水流さん、早川さん、企画していただきました栗原さんに感謝します。（Y Y）

【コーディネーターより】

- ◎昨年ミライエ長岡オープン直後に視察する機会があり、水流さんに摂田屋を案内してもらいました。非常に面白いまちづくりがなされているので、ぜひTEKU-TEKUでも歩きたいと思い、今回の企画を実施しました。長岡の宮内・摂田屋と中心市街地という対照的な2つの街ですが、水流さんと早川さんの丁寧な説明と案内のおかげで、とても充実したまち歩きになったと思います。両方の街とも、これからどんどん面白くなると思うので、皆さんぜひ長岡のリピーターになってください。



アオーレ長岡